

日本経済思想史研究

第 23 号

2023.3 [令和 5 年 3 月]

論 説

河内屋可正の経済思想——元禄期畿内在郷町における 「工夫」と「進退」	田口英明	1
「第二次兵庫県」時代の「村会」における「道」創設構想	南森茂太	18

書 評

宇佐美英機著『近江商人と出世払い——出世証文を読み解く』	塩川隆文	35
加藤慶一郎編『日本近世社会の展開と民間紙幣』	村上麻佑子	39
Nishioka Mikio (西岡幹雄) 著 <i>Ideas and Economy in Japan: Innovation and Tradition</i>	大槻忠史	42
南森茂太著『「民」を重んじた思想家 神田孝平 ——異色の官僚が構想した、もう一つの明治日本』	伊故海貴則	45
活動記録（大会記録・例会記録）		49
お知らせ		62
編集後記		62
日本経済思想史学会 会誌『日本経済思想史研究』投稿規程／執筆要項		63
日本経済思想史学会会則		66
英文要約		67

日本経済思想史学会